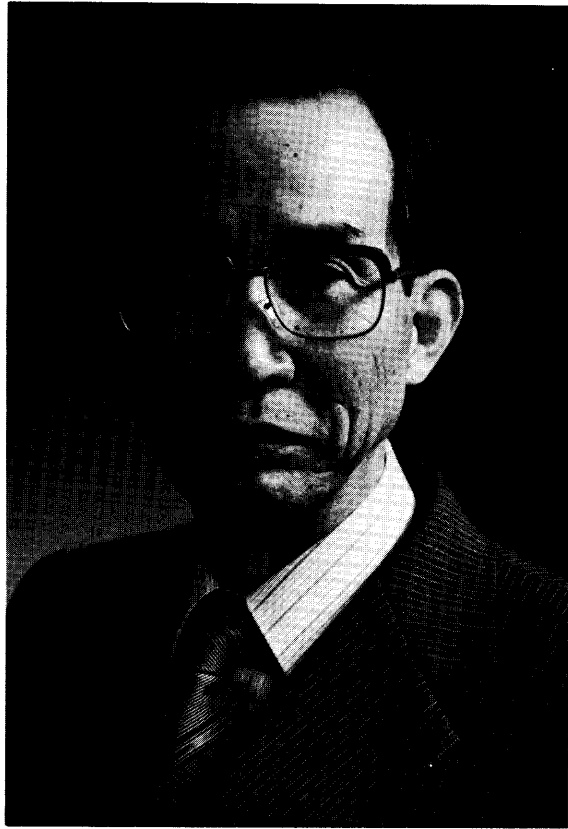


[052] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10220>

出版情報：語文研究. 52/53, 1982-06-10. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：



今井源衛教授 近影

今井源衛教授略歴

大正八年二月十六日

三重県四日市市に今井源一郎の三男として生まる

昭和十八年九月

第一高等学校文科甲類卒業

昭和二十二年三月

東京大学文学部国文学科卒業

昭和二十四年三月

東京大学大学院修業

昭和二十八年四月

私立清泉女子大学助教授

昭和三十一年十月

九州大学文学部助教授

昭和四十六年四月

文学博士（『王朝文学の研究』九州大学）

昭和四十六年七月

九州大学文学部教授

昭和四十六年十月

学生部参与（昭和四十八年十一月まで）

昭和五十一年七月

評議員（昭和五十五年六月まで）

昭和五十三年七月

文学部長・文学研究科長（昭和五十五年六月まで）

昭和五十七年四月

定年退官

梅光女学院大学文学部教授

昭和五十七年五月

九州大学名誉教授の称号を授与せらる

今井源衛教授主要著作目録

著 書

源氏物語(上) (日本文学新書)

竹取物語・伊勢物語・大和物語 (日本古典文学大系9) (共著)

やへむぐら (古典文庫173)

源氏物語の研究

紫式部 (人物叢書131)

花山院の生涯

王朝文学の研究

源氏物語(一)~(六) (日本古典文学全集12~17) (共著)

堤中納言物語・とりかへばや物語 (鑑賞日本古典文学12) (共著)

紫林照徑 源氏物語の新研究

祐論 光源氏一部歌 (源氏物語古注集成3)

枕草子・大鏡 (鑑賞日本の古典5) (共著)

国文学やぶにらみ

支子文庫本大和物語 (影印・解題・釈文) (在九州国文資料影印叢書〔第二期〕1)

古筆手鑑菅屋釜 (共編著)

秋月郷土館蔵書分類目録 (共編)

創元社

岩波書店

古典文庫

未来社

吉川弘文館

桜楓社

角川書店

小学館

角川書店

角川書店

桜楓社

尚学図書

和泉書院

在九州国文資料影印叢書刊行会

文献探究の会

文献出版

昭和三二年三月

昭和三二年一〇月

昭和三六年二月

昭和三七年七月

昭和四一年三月

昭和四三年七月

昭和四五年一〇月

昭和四五年一月

一五一年二月

昭和五一年二月

昭和五四年一月

昭和五四年一月

昭和五五年五月

昭和五六年五月

昭和五六年五月

昭和五七年二月

昭和五七年三月

論文

- 古代小説創作上の一手法——垣間見に就いて——
明石上について——源氏物語人物試評——
源氏物語における親と子
道綱母の気質
戦後における源氏物語研究の動向
王朝物語の終焉
苔の衣について——物語の解体——
女三宮の降嫁
光源氏
源氏物語の作者——その研究史の概観——
業平——三代実録の記録——
業平——日本文学の理想像
正安本「義孝集」翻刻と校異
花山院研究その一
漢文伝の世界
花山院研究その二
物語文学論
「八重葎」について
「老閑行」のこと
源氏物語奥入の成立について——待井説に賛成する——
讀岐典待日記

- | | |
|------------------|---------|
| 国語と国文学 25 卷 3 号 | 昭和三年 三月 |
| 国語と国文学 26 卷 6 号 | 昭和二年 六月 |
| 日本文学史研究 3 号 | 昭和五年 一月 |
| 日本文学史研究 8 号 | 昭和五年 二月 |
| 文学 22 卷 2 号 | 昭和二年 二月 |
| 国語と国文学 31 卷 10 号 | 昭和二年 一月 |
| 日本文学 3 卷 10 号 | 昭和二年 一月 |
| 文学 23 卷 6 号 | 昭和三年 六月 |
| 日本文学 5 卷 9 号 | 昭和三年 九月 |
| 国語と国文学 33 卷 10 号 | 昭和三年 一月 |
| 日本文学 6 卷 7 号 | 昭和三年 七月 |
| 日本文学 6 卷 11 号 | 昭和三年 二月 |
| 語文研究 6・7 号 | 昭和三年 二月 |
| 文学研究 57 輯 | 昭和三年 三月 |
| 国語と国文学 36 卷 4 号 | 昭和四年 四月 |
| 文学研究 58 輯 | 昭和四年 七月 |
| 日本文学 8 卷 9 号 | 昭和四年 九月 |
| 文学研究 59 輯 | 昭和五年 三月 |
| 言語と文芸 2 卷 3 号 | 昭和五年 五月 |
| 語文研究 11 号 | 昭和五年 九月 |
| 解釈と鑑賞 26 卷 2 号 | 昭和六年 二月 |

大和物語評釈・一〜六十七

了悟「光源氏物語本事」について

新資料紹介・肥前松平文庫（共同執筆）

奈良から平安へ

再び伊勢物語百一段について——松尾聡・片桐洋一両氏に答える——

花山院研究その三

山鹿養行手沢本「大和物語抄」について

紫式部本名香子説を疑う

紫式部集の復元とその恋愛歌

「幻中類林」と「光源氏物語本事」

平安朝文学——物語・日記・随筆・漢詩文——

為信集と源氏物語

晩年の紫式部

古注「大和物語抄」考

紫式部の出生年度

源氏物語と紫式部集

枕草子の古注釈書

翻刻・山鹿養行与、古注「枕草子」乾坤

戒仙について——業平から貫之へ——

仲文集試論

晩年の紫式部 補説

紫上——朝顔巻における——

菅公と源氏物語

国文学 6巻11号

13巻11号

国語と国文学 38巻11号

文学 29巻11号

文学語学 22号

香椎編 8号

文学研究 61輯

語文研究 16号

国語国文 34巻1号

文学 33巻2号

ヒブリア 30号

国語と国文学 42巻4号

語文研究 20号

日本文学 14巻6号

創立四十周年記念論文集

文学研究 63輯

文学 35巻5号

文学研究 65輯

平安文学研究 40輯

文学研究 66輯

福田良輔教授退官記念論文集

むらさき 8輯

源氏物語講座 3巻

語文研究 31・32号

昭和三十六年 九月

昭和四三年 九月

昭和三十六年 一月

昭和三十六年 一月

昭和三六年 二月

昭和三七年 二月

昭和三八年 三月

昭和三八年 六月

昭和四〇年 一月

昭和四〇年 二月

昭和四〇年 三月

昭和四〇年 四月

昭和四〇年 六月

昭和四〇年 六月

昭和四一年 一月

昭和四一年 三月

昭和四二年 五月

昭和四三年 三月

昭和四三年 六月

昭和四四年 九月

昭和四四年 一月

昭和四四年 二月

昭和四六年 七月

昭和四六年 七月

昭和四六年 一月

紫式部の父系

翻刻・島原松平文庫本「源氏長歌」

「今はむかし物語」翻刻と解題

勸解由相公藤原有国伝——一家司屬文人の生涯——

平安朝文学における僧侶の恋

女子教訓書および艶書文学と源氏物語

竹河巻は紫式部原作であろう(上)

竹河巻は紫式部原作であろう(下)

前渡りについて——源氏物語まで——

人妻を盗む話——浮舟巻補注——

「とりかへばや」醜穢論をめぐって

「宇治橋」の贈答歌について——宇治十帖の主題——

王朝の「そらごと」

夕霧巻「とにかくに人目づつみをせきかねて」の歌をめぐって

年中行事と日本文学・源氏物語

夕顔の性格

「我身にたどる姫君」の性愛描写について

「我が身にたどる姫君」本文の再建

源氏物語講座6巻

中世文学の研究

近世文学作家と作品

文学研究71輯

語文研究37号

源氏物語の研究

文学研究72輯

語文研究39・40号

中古文学17号

国語と国文学53巻6号

日本文学26巻4号

春日和男教授退官記念語文論叢

論叢王朝文学

むらさき18輯

年中行事の文芸学

平安時代の歴史と文学・文学編

文学50巻2号

文学研究79輯

昭和四六年二月

昭和四七年五月

昭和四八年一月

昭和四九年三月

昭和四九年八月

昭和四九年九月

昭和五〇年三月

昭和五〇年六月

昭和五一年五月

昭和五一年六月

昭和五二年四月

昭和五三年一月

昭和五三年二月

昭和五六年七月

昭和五六年七月

昭和五六年一月

昭和五七年二月

昭和五七年三月

(以上、主要なるものみの抄出)